



団体交渉  
終了！④

# 消雪設備の確実な整備を求める

## 申23号・2017年度冬期に発生した問題に関する申し入れ

冬期間に安定した輸送を実現するためには除雪体制を整えるとともに、消雪設備などの整備も重要です。駅構内で雪を抱えて列車が運転不能となる事態やポイント不転換を防ぐために、消雪設備の改善や新設を求めました。

### 安定した運行確保のため軌間内消雪設備の整備・新設を

上越線の石打駅、塩沢駅、越後川口駅構内の軌間内消雪について水が出るように整備するとともに、信越本線の長鳥駅下り本線に軌間内消雪を整備するよう求めました。

- 石打駅・塩沢駅は井戸洗浄により対応を考えている
- 越後川口駅構内は水源の確保が困難なことから、熱風式融雪装置での対応を考えているが今冬期には間に合わない

<支社> 軌間内消雪は上越線が優先。長鳥駅は雪況カメラ新設や乗務員の申告による除雪で対応する。

<組合> 長鳥駅はホーム下に雪の逃げ場がない構造。早めの除雪は必要だが、軌間内消雪が設置されるだけでも雪で止まる事象は減る。信越本線も雪が降るので設備投資の優先順位を上げる検討を求める。

<支社> 意見として受ける。



### 消雪設備のメンテナンス体制の整備を求める

消雪設備について、予算措置及び周期に合わせて行う仕組みをルール化して、定期的にメンテナンスができる体制とするよう求めました。

支社側からは実施基準等に基づき実施しているとの回答を受けました。

- 踏切除雪や軌間内除雪など、保線持ちの設備は年1回、冬期前に点検している。熱融雪や温水ジェットなどは冬期間の12～2月に月1回点検している
- 井戸については休止をかけていればメンテナンスはしないが、稼働前提であればメンテナンスをし、冬期前点検は行っている
- 地下水については、冬期期間は消雪パイプなどで町中のどこでも水を使っているため水位が下がり水があまり出ない。井戸を掘るには許可が必要だが許可をとるのが難しい